

平成29年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成29年8月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,469億円余
2. 前年同月比	-0.9% (2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.2%(90.9%) : 非店頭-7.3%(9.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成29年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	847,497㎡ (前年同月比:-4.0%)
6. 総従業員数	18,387人 (前年同月比:-3.5%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 -1.7%、1-3月 -1.5%、2-4月 -1.3%、 3-5月 -0.7%、4-6月 -0.2%、5-7月 -0.3%

[参考] 平成28年7月の売上高増減率は0.6%

【特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は0.5%減とマイナスに転じた。夏のクリアランスセールを6月末に前倒しした影響を受ける中、集客・販促策が奏功し前年を越える店舗もあったが、地区全体としては前年実績には僅かに届かなかった。
- (2) 入店客数の減少を受けて、当月はデイリー商材の食料品(1.8%減)も3か月ぶりにマイナスとなった。特に、不漁不作による価格高騰などから、生鮮食品の需要が盛り上がり、売上を押下げる要因となった。
- (3) 東京地区は富裕層とインバウンドの市場規模が大きく、都内各店でラグジュアリーブランドや宝飾時計など高額品(美術・宝飾・貴金属:6.1%増)や化粧品(18.9%増)は極めて活況に推移した。これらを含む雑貨の合計では7.9%増と、全国水準を1.1ポイント上回った。
- (4) 夏休みに合わせた各種施策では、人気キャラクターを使ったファミリー対象企画、趣味性・嗜好性の高いマニア向けイベントの他、人気作家の展示会などが展開され、いずれも連日行列ができるほど盛況で、集客や売上増に一定の貢献をした。
- (5) 8月中間段階の商況は、5.3%増(8/16)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:5店、②変化なし:8店、③減少した:6店
- (3) 7月歳時記(クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数12店舗)
①増加した:2店、②変化なし:8店、③減少した:2店

東京地区百貨店 売上高速報 2017年07月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	146,954,142	100.0	-0.9
紳士服・洋品	11,563,453	7.9	-1.0
婦人服・洋品	25,968,921	17.7	-6.4
子供服・洋品	2,402,562	1.6	-1.5
その他衣料品	3,026,322	2.1	-2.0
衣 料 品	42,961,258	29.2	-4.4
身のまわり品	21,578,814	14.7	-1.4
化粧品	12,872,727	8.8	18.9
美術・宝飾・貴金属	9,340,022	6.4	6.1
その他雑貨	5,619,388	3.8	-8.7
雑 貨	27,832,137	18.9	7.9
家 具	1,719,674	1.2	5.2
家 電	826,875	0.6	16.3
その他家庭用品	4,061,480	2.8	-6.3
家 庭 用 品	6,608,029	4.5	-1.1
生 鮮 食 品	5,782,225	3.9	-3.0
菓 子	10,450,121	7.1	-1.4
惣 菜	7,554,811	5.1	-2.1
その他食料品	14,401,010	9.8	-1.5
食 料 品	38,188,167	26.0	-1.8
食 堂 喫 茶	3,568,775	2.4	-1.5
サ ー ビ ス	2,134,773	1.5	-8.1
そ の 他	4,082,189	2.8	-1.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率 (%)
商 品 券	3,871,221 千円	-4.4
従 業 員 数	18,387 人	-3.5
店 舗 面 積	847,497 m ²	-4.0
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が8か月連続のプラスとなった。また、衣料品が21か月連続、身のまわり品が12か月連続、家庭用品が11か月連続、食料品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が28か月連続、美術・宝飾・貴金属が3か月連続、家電が2か月連続、家具が7か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.9	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-1.0	-0.1	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.4	-1.2	21か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.5	0.0	5か月ぶりマイナス
その他衣料品	-2.0	0.0	3か月連続マイナス
衣料品	-4.4	-1.3	21か月連続マイナス
身のまわり品	-1.4	-0.2	12か月連続マイナス
化粧品	18.9	1.4	28か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	6.1	0.4	3か月連続プラス*
その他雑貨	-8.7	-0.4	3か月連続マイナス*
雑貨	7.9	1.4	8か月連続プラス
家具	5.2	0.1	7か月ぶりプラス
家電	16.3	0.1	2か月連続プラス
その他家庭用品	-6.3	-0.2	4か月連続マイナス
家庭用品	-1.1	0.0	11か月連続マイナス
生鮮食品	-3.0	-0.1	17か月連続マイナス*
菓子	-1.4	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-2.1	-0.1	13か月連続マイナス*
その他食料品	-1.5	-0.1	4か月ぶりマイナス*
食料品	-1.8	-0.5	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-1.5	0.0	6か月連続マイナス
サービス	-8.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他	-1.0	0.0	8か月ぶりマイナス
商品券	-4.4	-0.1	6か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>